大学･高専機能強化支援事業（支援２：高度情報専門人材の確保に向けた機能強化に係る支援）
【大学　一般枠、特例枠】実施状況報告書

選定年度	令和7年度	学校コード	F126110107425	改組内容	研究科等の設置・増員＋学部等の設置・増員（一般枠）
大学名	京都工芸繊維大学	設置区分	国立	事業計画名	京都工芸繊維大学創発誘導高度デジタル学による異分野融合型高度情報専門人材育成事業
学校種	大学	都道府県	京都		

1.年度別の計画及び取組状況

年度別の事業計画（上欄：研究科等の設置等及びその準備（設置認可申請等）、下欄：教育環境の整備（施設整備、教員採用等）、教育活動の充実等の取組）と取組状況及び自己評価を記載してください。
当初計画から変更又は追加した取組は赤字で記載し、計画変更の承認を受けた計画については、末尾に承認日を赤字で記載してください。
計画の進捗の遅れや実施困難な事項がある等、自己評価が下位2つの場合には、課題（理由）とその対応を記載してください。計画通りに実施できており、その他課題がない場合に限り記載は不要です。

事業期間	事業計画	取組状況	自己評価、課題（理由）とその対応	
令和7年度	【情報系組織の入学定員】<博士前期課程> ４６名、<学士> ６１名 工芸科学研究科情報工学専攻４６名 工芸科学部情報工学課程６１名 3月　工芸科学部情報工学課程認可申請	3月　工芸科学部情報工学課程認可申請	令和7年度自己評価	【３】計画を十分に実施している。
	①10月～３月　創発誘導高度デジタル学関連科目の講義・演習資料の作成 ②10月　技術支援スタッフ1名採用 ③10月～３月　同関連科目演習に向けた企業訪問（非常勤講師等の確保含む） ④10月～３月　計算機室増強のための環境整備 ⑤10月～３月　講義室、演習室増強のための環境整備	①10月～３月　創発誘導高度デジタル学関連科目の講義・演習資料の作成 ②10月　技術支援スタッフ1名採用 ~~③10月～３月　同関連科目演習に向けた企業訪問（非常勤講師等の確保含む）~~（『交付規則』第８条に定める「軽微な変更」） ~~④10月～３月　計算機室増強のための環境整備~~（『交付規則』第８条に定める「軽微な変更」） ~~⑤10月～３月　講義室、演習室増強のための環境整備~~（『交付規則』第８条に定める「軽微な変更」）	「③10月～３月　同関連科目演習に向けた企業訪問（非常勤講師等の確保含む）」は、創発誘導高度デジタル学関連科目の内容調整により不要となった。 「④10月～３月　計算機室増強のための環境整備」「⑤10月～３月　講義室、演習室増強のための環境整備」については、令和8年度に実施する「演習・実習室増強費」「情報基盤ネットワークシステム増強費」と一体的に行うこととした。 以上③④⑤の変更については、本助成事業を効果的、効率的に遂行、実施するための軽微な変更であり、事業全体へ影響はなく、計画を十分に実施できていると判断した。	
令和8年度	【情報系組織の入学定員】<博士前期課程> ４６名、<学士課程> ６１名 工芸科学研究科情報工学専攻４６名 工芸科学部情報工学課程６１名		令和8年度自己評価	リストから選択してください。
	①４月～３月　ネットワークシステム環境整備 ②４月～３月　講義室・演習室増強のための環境整備 ③４月～３月　創発誘導高度デジタル学関連科目のカリキュラム作成 ④7月～12月　入学試験の実施 ⑤4～10月　新規教員3名採用 ⑥１月～３月　演習科目学習機材整備			
令和9年度	【情報系組織の入学定員】<博士前期課程> ５７名、<学士課程> ７１名 4月　工芸科学研究科博士前期課程情報工学専攻　１１名増員　（入学定員５７名）予定 4月　工芸科学部情報工学課程　１０名増員（入学定員７１名）予定		令和9年度自己評価	リストから選択してください。
	①４月　非常勤講師２名採用 ②４月～３月　新たに整備したカリキュラムの実施 ③４月～３月　システムネットワークの保守 ④８月、２月　カリキュラムの点検・見直し			
令和10年度			令和10年度自己評価	リストから選択してください。
	①４月～３月　創発誘導高度デジタル学関連科目の講義・演習の実施 ②４月～３月　システムネットワークの保守			
令和11年度			令和11年度自己評価	リストから選択してください。
	①４月～３月　創発誘導高度デジタル学関連科目の講義・演習の実施 ②４月　新規教員1名採用 ③４月～３月　システムネットワークの保守			
令和12年度			令和12年度自己評価	リストから選択してください。
	①４月～３月　創発誘導高度デジタル学関連科目の講義・演習の実施 ②４月～３月　システムネットワークの保守			
令和13年度	工芸科学研究科博士前期課程情報工学専攻　８名増員（入学定員６５名）		令和13年度自己評価	リストから選択してください。
	①４月～３月　創発誘導高度デジタル学関連科目の講義・演習の実施 ②４月～３月　システムネットワークの保守			
令和14年度			令和14年度自己評価	リストから選択してください。
	①４月～３月　創発誘導高度デジタル学関連科目の講義・演習の実施			
令和15年度			令和15年度自己評価	リストから選択してください。
	①４月～３月　創発誘導高度デジタル学関連科目の講義・演習の実施			
令和16年度			令和16年度自己評価	リストから選択してください。
	①４月～３月　創発誘導高度デジタル学関連科目の講義・演習の実施			

フォローアップ対象年度	令和7年度	大学名	京都工芸繊維大学

２.申請資格の確認

ⅰ） 学生募集停止中の大学
ⅱ） 学校教育法第109条の規定に基づき文部科学大臣の認証を受けた者による直近の評価の結果、「不適合」の判定を受けている大学
ⅲ） 「私立大学等経常費補助金」において、定員の充足状況に係る基準以外の事由により、前年度に不交付又は減額の措置を受けた大学
ⅳ） 設置計画履行状況等調査において、「指摘事項（法令違反）」が付されている大学
ⅴ） 大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準（平成15年文部科学省告示第45号）第２条第１号又は第２号のいずれかに該当する者が設置する大学

上記項目の申請資格の状況について、プルダウンで選択してください。（プルダウンの選択肢：すべての項目に該当していない、右の○の項目に該当している）

申請資格の状況	ⅰ）	ⅱ）	ⅲ）	ⅳ）	ⅴ）
すべての項目に該当していない					

３.申請要件の取組状況

① 高等教育の修学支援新制度において、大学等における修学の支援に関する法律（令和元年法律第８号）に基づき、財務状況や収容定員充足率が適正であることを含めた要件を満たすことの確認を受けた大学であること。なお、学部を置かない大学や新設予定の大学で、応募時点において、高等教育の修学支援新制度における要件確認の対象に該当しないものは、本要件は適用されない。

② 志願者数の状況や入学定員及び収容定員充足率等を踏まえた十分な学生確保の見通しを備えた計画となっていること。

③ 産業界を含む社会のニーズ等を踏まえ、学修目標の具体化、体系的な教育カリキュラムの編成及び大学での学修に必要な資質・能力等を評価する入学者選抜が適切に実施され、そのための体制を構築する計画となっていること。（その際、国際的な質保証の枠組みを活用するなど出口における質保証にも十分留意することが重要。）

④ 特定成長分野のうちデジタル分野の人材を育成するための戦略、適切な管理・教育体制や教育研究環境の整備を図る計画となっていること。

⑤ 計画の対象となる研究科・専攻等において、実務経験のある教員等による授業科目を配置する計画となっていること。

⑥ 特定成長分野のうち情報系分野に係る研究科、専攻、コース等の設置・増員（研究科、専攻の定員の増員を伴わないものを含む。）、専攻に係る課程の変更（研究科、専攻、コース等の設置・増員及び専攻に係る課程の変更に伴う学部、学科、コース等の設置・増員（学部、学科の定員の増員を伴わないものを含む。）を含む。）（以下「研究科等の設置等」という。）による体制強化の計画であること。なお、コース等の設置・増員による体制強化の場合は、学則において、コース等の募集人員数を明記する計画であること。

⑦ 社会において具体的な人材ニーズが現に存在する、又は、その十分な見通しのある分野に係る研究科等の設置等の取組であること。

⑧ 教育の実績を有する既設の情報系分野に係る研究科、専攻（授与する学位が、学位種類分野変更基準に定める理学関係、工学関係又は農学関係のいずれかを学位の分野として含むものに限る。）を有する大学において、高度情報専門人材を育成する計画であること。（大学（特例枠）については、既設の情報系分野に係る学部、学科（授与する学位が、学位種類分野変更基準に定める理学関係、工学関係又は農学関係のいずれかを学位の分野として含むものに限る。）を有する大学とする。）

⑨ 機構による事業計画の選定があった日から２年を経過する日を含む年度の末日までに、計画の対象となる研究科等の設置等を行う計画であること。

⑩ 計画の対象となる研究科等の設置等において、大学院修士課程（博士前期課程を含む。）15名以上又は大学院博士課程（博士後期課程を含む。）５名以上の入学定員の増員を行う計画であること。

⑪ 国立大学について、大学全体の収容定員の増員を伴う学部定員の増員を行う場合は、国立大学法人の第５期中期目標期間終了時までに他学部・他学科を中心に同規模の定員減を行う計画であること。

⑫ 教員の確保・配置状況等を踏まえた実現可能性の高い計画になっていること。

⑬ 文部科学省が実施する数理・データサイエンス・ＡＩ教育プログラム認定制度における「応用基礎レベル」について、大学又は計画の対象となる学部若しくは計画の対象となる研究科に関連する主な学部が認定を受けている、又は認定を受ける計画があること。なお、学部を置かない大学で、本認定制度の対象に該当しないものについては、本要件は適用されない。

⑭ 文部科学大臣から国際卓越研究大学として認定を受け、支援を受けている大学でないこと。

上記項目の①～⑫の申請要件について、　令和7年度　の取組の状況についてプルダウンで選択してください。（プルダウンの選択肢：すべての項目が要件を満たしている、右の○の項目の要件を満たしていない）

申請要件の状況	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫
すべての項目が要件を満たしている												

①～⑫の要件を満たしていない又は対象でない項目がある場合、左欄に該当する申請要件を選択し、右欄に課題（理由）とその対応について記載してください。

項目	課題（理由）

⑬,⑭については、現在の状況をプルダウンより選択してください。

申請要件⑬,⑭について	現在の状況
⑬文部科学省が実施する数理・データサイエンス・ＡＩ教育プログラム認定制度における「応用基礎レベル」について、大学又は計画の対象となる学部若しくは計画の対象となる研究科に関連する主な学部が認定を受けている、又は認定を受ける計画があること。なお、学部を置かない大学で、本認定制度の対象に該当しないものについては、本要件は適用されない。	認定を受けている
⑭文部科学大臣から国際卓越研究大学として認定を受け、支援を受けている大学でないこと。	認定を受けておらず申請する意向もない

４.審査要項における確認項目の計画及び取組状況

令和7年度　の取組実績及び申請時の計画を記載してください。取組実績は会社名や大学名、定量的なデータ等を示し具体的に記載してください。検討中であっても状況を記載してください。
計画の進捗の遅れや実施困難な事項がある場合には、課題（理由）とその対応を記載してください。計画通りに実施できており、その他課題がない場合に限り記載は不要です。

① 地域において自治体や企業等と連携した取組を行う計画となっているか。

申請時の計画	取組実績、進捗状況	課題（理由）とその対応
新設授業科目の１つには「京都工芸繊維大学産学連携協力会（会員企業約330社）」、本学が中核機関である「京都クオリアフォーラム（京都・奈良地区の国私立8大学と堀場製作所、島津製作所等7社）」等、京都府や京都府北部の地方自治体との連携により、企業、地域や社会の課題発見と解決を目的とした演習科目「企業・地域問題解決特別演習」を開講し、企業等との連携した教育研究を通じて人材の育成及び即戦力となりえる人材の輩出を計画している。なお、この演習科目は、企業等に実務家教員のクロスアポイントメント雇用又は講師派遣を依頼して授業を実施していく予定である。	新設授業科目の１つである演習科目「企業・地域問題解決特別演習」については、創発誘導高度デジタル学関連科目の内容調整により、企業等に所属している実務担当者による授業は不要となったところである。しかしながら、既存科目、新設科目の別にかかわらず、京都クオリアフォーラムや京都工芸繊維大学産学連携協力会に所属する企業や地方自治体と連携し、実務経験を有する講師の派遣について、必要に応じて検討していく。	

② 初等中等教育段階の学校との連携に関する取組を行う計画となっているか。

申請時の計画	取組実績、進捗状況	課題（理由）とその対応
本学では、理工系人材の裾野を広げる取組として、京都府教育員会及び京都市教育委員会と連携し、高大連携教育の一環として高等学校への出前授業を行っており、情報工学専攻を担当する教員組織である「情報工学・人間科学系」に所属する教員についても、情報工学に関わる最先端の話題や技術動向に興味・関心をもってもらうべく定期的に講座を行っている。また、オープンキャンパスの開催に併せ毎年度、小中学生を対象とした体験講座「コンピューターのしくみ～マイコンでﾌﾟﾛｸﾞﾗﾐﾝｸﾞ体験」を開講し、裾野拡大に努めている。 更に、本学独自の地域連携教育プログラム「地域創生Tech Program」により連携している、京都北部の高等学校（綾部高校、福知山高校、西舞鶴高校など）をはじめとする京都府全域の「高校DXハイスクール認定校」との持続可能な教育連携の仕組みを構築する。 このように、本学では既に密接に連携している他の事業を活用しつつ、本事業により活動を活発に行う計画である。	令和７年度においては、京都府教育員会と連携した「子どもの知的好奇心をくすぐる体験授業」として、高等学校２校、小学校１校への出前授業を行い、情報工学に関わる最先端の話題や技術動向について学習段階に応じたわかりやすく興味をいだきやすい内容を実施した。また、８月７日には体験学習「コンピュータのしくみ～マイコンでプログラミング体験～」を本学松ヶ崎キャンパスで実施し、小学5年生から中学3年生までの計２９名の参加があった。参加者アンケートによると、参加者の９割以上がコンピュータに関する講義、及びプログラミング体験に強い興味・関心を持っていた。次年度以降も引き続きこれらの取り組みを通して、情報分野に係る理工系人材の拡大、獲得をはかる。 また、本学独自の学位プログラム「地域創生Tech Program」で連携している京都府北部の高等学校（綾部高校、福知山高校、西舞鶴高校など）をはじめとする京都府全域の「高校DXハイスクール認定校」と教育連携についても、持続可能な仕組みとなるよう計画、検討を進めているところである。	

③ 女子学生、社会人学生、留学生等の確保に向けた特色ある取組を行う計画となっているか。

申請時の計画	取組実績、進捗状況	課題（理由）とその対応
本学は、女子学生が大学全体で30%強の割合を占め、情報工学課程では20%程度を占めるというリケジョ先進大学である。女性教員、女子学生及び卒業生の協力のもと、理系女子応援ページ（https://www.kit.ac.jp/test_index/rikeijyoshi/）を開設し、オープンキャンパスや京都府が主催する「京都STEAM女子応援事業」に参加するなど、既に大学として理系女子を応援しており、今後も女子学生の確保に努める。 また、本学では情報系の社会人向け履修証明プログラム「機械学習、IoT(Internet of Things)、ビッグデータ技術履修コース」を開講し、5名から20名程度の参加を得ている。このプログラムは、学部卒程度の基礎知識を有する者を対象としており、本プログラム履修者がその後も引き続き、専門知識の習得のため、修士課程に進学するよう働きかけを行う。 さらに、本学ならびに情報工学専攻では、これまでも海外協定大学を対象とした大学院工芸科学研究科国際科学技術コースによる留学生の確保に努めており、外国籍教員を活用し留学生フェアなどでアピールしてきている。今後、情報工学専攻担当の4名の外国籍の教員を中心として、さらに積極的に国際科学技術コースによる留学生確保をはかる。	オープンキャンパスでは、女性教員、女子学生及びKIT男女共同参画推進センター協力のもと、「女子高校生のための理系進学のススメ！」と題した動画を作成し、参加者が自由に視聴できるようにした。なお、当該動画についてはオープンキャンパス終了後も本学の理系女子応援ページ（https://www.kit.ac.jp/test_index/rikeijyoshi/）に掲載し、過去の「女子高生のためのリケジョ（理系女子）講座」の動画も含め視聴を可能にしている。また、京都府が主催する「京都STEAM女子応援事業」に参加し、「未来の理工系女子応援！先輩STEAM女子との交流会」「わたしのサイエンスプロジェクト サマーキャンプ」等といったイベントの開催に協力、学生を派遣しており、引き続き女子学生の確保に務めている。 情報系の社会人向け履修証明プログラムについては、実施内容の検討、更新のため、今年度は開講を見送り、準備のための期間とした。当該プログラムの履修者がその後も引き続き、専門知識の習得のため、博士前期課程に進学するよう魅力的なプログラムにするとともに、進学の働きかけを行う予定である。 留学生の受け入れ、確保については、海外協定大学を対象とし、英語での授業・研究指導により修士号、博士号の学位取得が可能なプログラムである大学院工芸科学研究科国際科学技術コースにより、令和７年度には情報工学専攻（博士前期課程）で7名、設計工学専攻（博士後期課程）で3名の入学があった。加えて、ＫＩＴグローバル人材育成プログラム（短期受入）等独自プログラムでは、令和7年度に15名の留学生を受け入れている。引き続きこれらのプログラムを組み合わせることで留学生の確保を行っていく。また、ベトナムで開催された「KIT-ASEAN Joint Seminar 2025」に情報工学・人間科学系の教員が参加したほか、ベトナム、中国、オランダ、スウェーデン等の国々の大学や研究機関との交流を通じて、情報分野における留学生の獲得活動を行っている。なお、同国際コースについては海外協定大学に限らず幅広く募集を行うことを令和7年度に決定し、令和8年度に募集を開始、令和9年度より学生を受け入れる予定である。	

④ 他の大学（外国大学を含む。）・高等専門学校等と連携した取組を行う計画となっているか。

申請時の計画	取組実績、進捗状況	課題（理由）とその対応
情報工学専攻では、タイ・カセサート大学との間で、グローバルインターンシップ（協定先の研究機関等で実績的なプログラム遂行を体験し、国際センター的な視野を持つ人材育成を目的としたプログラム）を行ってきているが、このグローバルインターンシップを選択必修とすることで履修を促進する計画である。また、タイ・チェンマイ大学医学部など異分野との研究交流を行い、情報系にとらわれず、広くAIをテーマとする研究の国際的な研究機会を提供する。 さらに、本学、京都府立大学、京都府立医科大学との間で、「教育研究の連携推進に関する包括協定」を締結し、三大学教養教育共同科目を開講している。また、三大学に加え京都薬科大学も加わった、四大学で「京都４大学連携機構」を設置し、ヘルスサイエンスを中心とした共同研究を行うとともに、毎年度「４大学連携研究フォーラム」を開催し、情報工学専攻の学生も加わり、本取組で目指す異分野融合型高度情報人材の育成に努める。 加えて、これまでも出前授業やキャンパス見学等で連携を行ってきた、京都府立洛東高等学校、京都府立峰山高等学校（京丹後市）、学校法人聖ヨゼフ学園　日星高等学校（舞鶴市）、京都府立工業高等学校（福知山市）、京都府立綾部高等学校（綾部市）、京都府立亀岡高等学校（亀岡市）と連携を行う計画である。	タイ・カセサート大学との間でグローバルインターンシップに加え、ベトナム（Individual Systems、ホーチミン理科大学、ホーチミン市立工科大学、カント大学）、台湾（国立台湾科技大学）に本学学生を派遣した。また、タイ・チェンマイ大学医学部など異分野との研究交流を行い、情報系にとらわれず、広くAIをテーマとする研究の国際的な研究機会を提供できるプログラムを計画中である。 本学、京都府立大学、京都府立医科大学との間で、「教育研究の連携推進に関する包括協定」のもと実施している、京都三大学教養教育共同化事業においては、令和７年度のべ82科目を開講し、本学学生が自大学だけではなく、多様な背景をもった他大学の学生との教養教育を通じた交流がはかれるよう取り組んでいる。 上記三大学に加え京都薬科大学も加わった、四大学で「京都４大学連携機構」のもと実施しているヘルスサイエンスを中心とした公募型研究支援事業では、本学情報系教員が代表を務め、府立医科大学の教員とチームを組んだ研究課題が申請されるなど、引き続き本取組で目指す異分野融合型高度情報人材の育成を図っている。 加えて、これまでも出前授業やキャンパス見学等で連携を行ってきた、京都府立洛東高等学校、京都府立峰山高等学校（京丹後市）、学校法人聖ヨゼフ学園　日星高等学校（舞鶴市）、京都府立工業高等学校（福知山市）、京都府立綾部高等学校（綾部市）、京都府立亀岡高等学校（亀岡市）と連携に向けた計画を進めている。	令和7年度は参加のなかった４大学連携研究フォーラムへの情報工学専攻学生の参加・発表を促進し、異分野融合型高度情報人材の育成につなげる。

大学名	京都工芸繊維大学	改組内容	研究科等の設置･増員＋学部等の設置･増員（一般枠）

本事業対象となる研究科等の個数	1

１.本事業対象となる情報系組織の状況

１－２.修士課程

<内訳>

(1)

改組組織名	工芸科学研究科博士前期課程情報工学専攻

		年度		R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	R13年度	R14年度	R15年度	R16年度	R17年度	R18年度	R19年度	R20年度	R21年度	R22年度	R23年度	R24年度	R25年度
		改組状況		選定		増員																
大区分	小区分	項目	単位																			
	事業計画に定める定員	入学定員	人	46	46																	
学生の入学･在籍状況	春季入学	入学定員	人	46	46																	
		入学者数	人	48	55																	
		女子学生数	人	3	4																	
		社会人学生数	人	0	0																	
		留学生数	人	3	5																	
	その他の学期	入学定員	人	0	0																	
		入学者数	人	8																		
		女子学生数	人	1																		
		社会人学生数	人	0																		
		留学生数	人	8																		
	入学者合計	入学定員(A)	人	46	46	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		入学者数(B)	人	56	55	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		女子学生数	人	4	4	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		社会人学生数	人	0	0	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		留学生数	人	11	5	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		入学定員充足率（B/A）	倍	1.22	1.20	-	-				-	-				-	-				-	-
	収容定員等	収容定員(C)	人	92	92																	
		在籍者数(D)	人	102	112																	
		収容定員充足率（D/C）	倍	1.11	1.22	-	-				-	-				-	-				-	-
卒業後の状況	卒業者数等	卒業者数	人	53		-	-				-	-				-	-				-	-
		就職者数	人	48																		
		進学者数	人	3																		
		その他	人	2																		
		進路不明	人	0																		
教員の状況	実務経験のある教員の参画	教員数	人	11	11																	
		授業科目の単位数	単位	22	22																	

大学名	京都工芸繊維大学	改組内容	研究科等の設置･増員＋学部等の設置･増員（一般枠）

本事業対象となる学部等の個数	1

１.本事業対象となる情報系組織の状況

１－３.学士課程

<内訳>

(1)

改組組織名	工芸科学部情報工学課程

		年度		R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	R13年度	R14年度	R15年度	R16年度	R17年度	R18年度	R19年度	R20年度	R21年度	R22年度	R23年度	R24年度	R25年度
		改組状況		選定･届出		増員																
大区分	小区分	項目	単位																			
	事業計画に定める定員	入学定員	人	61	61																	
		編入学定員	人	6	6																	
学生の入学･在籍状況	春季入学	入学定員	人	61	61																	
		入学者数	人	64	67																	
		女子学生数	人	8	9																	
		社会人学生数	人	0	0																	
		留学生数	人	3	2																	
	その他の学期	入学定員	人	-	-																	
		入学者数	人	-	-																	
		女子学生数	人	-	-																	
		社会人学生数	人	-	-																	
		留学生数	人	-	-																	
	入学者合計	入学定員(A)	人	61	61	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		入学者数(B)	人	64	67	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		女子学生数	人	8	9	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		社会人学生数	人	0	0	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		留学生数	人	3	2	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		入学定員充足率（B/A）	倍	1.05	1.10	-	-	-		-	-			-	-	-	-			-	-	
	収容定員等	収容定員(C)	人	256	256																	
		編入学定員	人	6	6																	
		在籍者数(D)	人	291	292																	
		編入学者数	人	6	5																	
		収容定員充足率（D/C）	倍	1.14	1.14	-	-			-	-				-	-				-	-	
卒業後の状況	卒業者数等	卒業者数	人	64		-	-	-		-	-				-	-				-		
		就職者数	人	9																		
		進学者数	人	55																		
		その他	人	0																		
		進路不明	人	0																		
教員の状況	実務経験のある教員の参画	教員数	人	7	5																	
		授業科目の単位数	単位	15	13																	

大学名	京都工芸繊維大学	改組内容	研究科等の設置･増員＋学部等の設置･増員（一般枠）

2.情報系組織の状況

２－１.博士課程

大区分	小区分	項目	単位	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	R13年度	R14年度	R15年度	R16年度	R17年度	R18年度	R19年度	R20年度	R21年度	R22年度	R23年度	R24年度	R25年度
学生の入学･在籍状況	春季入学	入学定員	人	10	10																	
		入学者数	人	8	3																	
		女子学生数	人	1	0																	
		社会人学生数	人	1	0																	
		留学生数	人	0	0																	
	その他の学期	入学定員	人	0	0																	
		入学者数	人	5																		
		女子学生数	人	0																		
		社会人学生数	人	1																		
		留学生数	人	4																		
	入学者合計	入学定員(A)	人	10	10	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		入学者数(B)	人	13	3	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		女子学生数	人	1	0	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		社会人学生数	人	2	0	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		留学生数	人	4	0	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		入学定員充足率（B/A）	倍	1.30	0.30	-	-			-	-				-	-	-	-	-	-		
	収容定員等	収容定員(C)	人	30	30																	
		在籍者数(D)	人	33	27																	
		収容定員充足率（D/C）	倍	1.10	0.90	-	-			-	-				-	-	-	-	-	-		
卒業後の状況	卒業者数等	卒業者数	人	14																		
		就職者数	人	14																		
		進学者数	人	0																		
		その他	人	0																		
		進路不明	人	0																		
	大学院博士課程	満期退学者数	人	3																		
		学位取得者数	人	11																		
教員の状況	実務経験のある教員の参画	教員数	人	1	1																	
		授業科目の単位数	単位	2	2																	

大学名	京都工芸繊維大学	改組内容	研究科等の設置・増員＋学部等の設置・増員（一般枠）

2.情報系組織の状況

２－２.修士課程

大区分	小区分	項目	単位	R7年度 選定	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	R13年度	R14年度	R15年度	R16年度	R17年度	R18年度	R19年度	R20年度	R21年度	R22年度	R23年度	R24年度	R25年度
学生の入学・在籍状況	春季入学	入学定員	人	46	46																	
		入学者数	人	48	55																	
		女子学生数	人	3	4																	
		社会人学生数	人	0	0																	
		留学生数	人	3	5																	
	その他の学期	入学定員	人	0	0																	
		入学者数	人	8																		
		女子学生数	人	1																		
		社会人学生数	人	0																		
		留学生数	人	8																		
	入学者合計	入学定員(A)	人	46	46	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		入学者数(B)	人	56	55	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		女子学生数	人	4	4	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		社会人学生数	人	0	0	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		留学生数	人	11	5	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		入学定員充足率（B/A）	倍	1.22	1.20	-	-	-		-	-				-	-	-		-	-		
	収容定員等	収容定員(C)	人	92	92																	
		在籍者数(D)	人	102	112																	
		収容定員充足率（D/C）	倍	1.11	1.22	-	-	-		-	-				-	-	-		-	-		
卒業後の状況	卒業者数等	卒業者数	人	53																		
		就職者数	人	48																		
		進学者数	人	3																		
		その他	人	2																		
		進路不明	人	0																		
教員の状況	実務経験のある教員の参画	教員数	人	11	11																	
		授業科目の単位数	単位	22	22																	

大学名	京都工芸繊維大学	改組内容	研究科等の設置・増員＋学部等の設置・増員（一般枠）

2.情報系組織の状況

２－３.学士課程

大区分	小区分	項目	単位	R7年度 選定・届出	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	R13年度	R14年度	R15年度	R16年度	R17年度	R18年度	R19年度	R20年度	R21年度	R22年度	R23年度	R24年度	R25年度
学生の入学・在籍状況	春季入学	入学定員	人	61	61																	
		入学者数	人	64	67																	
		女子学生数	人	8	9																	
		社会人学生数	人	0	0																	
		留学生数	人	3	2																	
	その他の学期	入学定員	人	0	0																	
		入学者数	人	0	0																	
		女子学生数	人	0	0																	
		社会人学生数	人	0	0																	
		留学生数	人	0	0																	
	入学者合計	入学定員(A)	人	61	61	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		入学者数(B)	人	64	67	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		女子学生数	人	8	9	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		社会人学生数	人	0	0	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		留学生数	人	3	2	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		入学定員充足率（B/A）	倍	1.05	1.10	-	-			-	-				-	-			-	-		
	収容定員等	収容定員(C)	人	244	244																	
		編入学定員	人	6	6																	
		在籍者数(D)	人	291	292																	
		編入学者数	人	6	5																	
		収容定員充足率（D/C）	倍	1.19	1.20	-	-			-	-				-	-			-	-		
卒業後の状況	卒業者数等	卒業者数	人	64																		
		就職者数	人	9																		
		進学者数	人	55																		
		その他	人	0																		
		進路不明	人	0																		
教員の状況	実務経験のある教員の参画	教員数	人	7	5																	
		授業科目の単位数	単位	15	13																	

大学名	京都工芸繊維大学	改組内容	研究科等の設置・増員＋学部等の設置・増員（一般枠）

３.大学全体の状況

３－１.博士課程

大区分	小区分	項目	単位	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	R13年度	R14年度	R15年度	R16年度	R17年度	R18年度	R19年度	R20年度	R21年度	R22年度	R23年度	R24年度	R25年度
学生の入学・在籍状況	春季入学	入学定員	人	60	60																	
		入学者数	人	41	36																	
	その他の学期	入学定員	人	0	0																	
		入学者数	人	23																		
	入学者合計	入学定員（A）	人	60	60	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		入学者数（B）	人	64	36	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		入学定員充足率（B/A）	倍	1.07	0.60	-	-			-	-				-	-			-	-		
	収容定員等	収容定員（C）	人	180	180																	
		在籍者数（D）	人	206	205																	
		収容定員充足率（D/C）	倍	1.14	1.14	-	-			-	-				-	-			-	-		

３.大学全体の状況

３－２.修士課程

大区分	小区分	項目	単位	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	R13年度	R14年度	R15年度	R16年度	R17年度	R18年度	R19年度	R20年度	R21年度	R22年度	R23年度	R24年度	R25年度
学生の入学・在籍状況	春季入学	入学定員	人	510	510																	
		入学者数	人	552	551																	
	その他の学期	入学定員	人	0	0																	
		入学者数	人	30																		
	入学者合計	入学定員（A）	人	510	510	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		入学者数（B）	人	582	551	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		入学定員充足率（B/A）	倍	1.14	1.08	-	-			-	-				-	-			-	-		
	収容定員等	収容定員（C）	人	1,020	1,020																	
		在籍者数（D）	人	1,171	1,221																	
		収容定員充足率（D/C）	倍	1.15	1.20	-	-			-	-				-	-			-	-		

大学名	京都工芸繊維大学	改組内容	研究科等の設置･増員＋学部等の設置･増員（一般枠）

３.大学全体の状況

３－３.学士課程

年度				R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	R13年度	R14年度	R15年度	R16年度	R17年度	R18年度	R19年度	R20年度	R21年度	R22年度	R23年度	R24年度	R25年度
大区分	小区分	項目	単位																			
学生の入学･在籍状況	春季入学	入学定員	人	633	633																	
		入学者数	人	650	654																	
	その他の学期	入学定員	人	-	-																	
		入学者数	人	-	-																	
	入学者合計	入学定員（A）	人	633	633	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		入学者数（B）	人	650	654	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		入学定員充足率（B/A）	倍	1.03	1.03	-	-			-	-			-	-	-			-	-		
	収容定員等	収容定員（C）	人	2,432	2,432																	
		編入学定員	人	100	100																	
		在籍者数（D）	人	2,630	2,645																	
		編入学者数	人	47	47																	
		収容定員充足率（D/C）	倍	1.08	1.09																	

４.外部資金の状況（全学）

年度		R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	R13年度	R14年度	R15年度	R16年度	R17年度	R18年度	R19年度	R20年度	R21年度	R22年度	R23年度	R24年度	R25年度
項目	単位																			
外部資金獲得額	千円	1,770,628																		

特記事項

○１.本事業対象となる情報系組織の状況　１－２.修士課程
　情報工学専攻のその他の学期の入学定員0人とは若干名を意味している。
○２.情報系組織の状況　２－１.博士課程、２－2.修士課程
　その他の学期の入学定員0人とは若干名を意味している。
○３.大学全体の状況　3－１.博士課程、3－2.修士課程
　その他の学期の入学定員0人とは若干名を意味している。